

かみいち総合病院

改革プラン評価結果公表

この度、外部有識者など5人の委員で構成される改革プラン評価委員会（会長 富山大学附属病院長 井上博）において、平成22年度の実績状況を点検・評価したので、その結果を公表します。
 なお、詳細については、病院ホームページ（<http://www.kamichi-hosp.jp/>）をご覧ください。

達成状況の区分 A: 目標以上 B: 一定の実績 C: 実績なし

●数値目標達成に向けての具体的な取組

①収入増加・確保対策

内容	指標	平成22年度			平成23年度		実績及び成果等
		目標値	実績値	達成状況	計画値		
医師の増員	常勤医師数	2人増(収益2億円増)	2人増(収益9,553万円増)	B	1人増(収益1億円増)	平成22年10月に2人確保したが退職・産休による収益不足。	
急性期看護補助体制加算	診療報酬	2,000万円	2,085万円	A	2,000万円	施設基準を満たし、平成22年4月から算定開始。	
医師事務作業補助体制加算	診療報酬	300万円	358万円	A	300万円	施設基準を満たし、平成22年5月から算定開始。	
一般病床看護必要度加算	診療報酬	200万円	206万円	A	200万円	施設基準を満たし、平成22年4月から算定開始。	
院外処方箋の発行抑制	薬	発行率50%	発行率57.5%	B	発行率50%	院内の調剤体制が不十分。	
臨床試験(治験)の実施	収入増加策	300万円	0円	C	300万円	治験未実施	
健診・ドック利用者の拡大	収入増加策	5,800万円(年間健診センター利用額)	5,325万円	B	6,000万円	医師確保が困難なため土曜ドック、女性ドックは未実施。	
領収書裏面広告及びHPバナー広告の開設	その他	80万円	0円	C	80万円	応募なし	
未収金の徴収強化	未収金徴収	50万円	140万円	A	150万円	平成21年5月より徴収専門員を配置。	

②経費削減・抑制対策

内容	指標	平成22年度			平成23年度		実績及び成果等
		目標値	実績値	達成状況	計画値		
医事業務委託拡大による正規職員の削減	職員数	1人減	0人	C	2人減	業務の効率化を図るため専門業者から1人派遣を受けたが、正規職員の削減には至らず。	
時間外勤務手当の抑制	人件費	-100万円(対H21年度)	225万円(対H21年度)	B	-100万円(対H22年度)	医師事務作業補助者の業務拡大による医師の事務軽減を図ったが大きな抑制には至らず。	
医療材料費の抑制	経費	-600万円	-570万円	B	-600万円	価格交渉の強化による値引き率の増高。	
業務委託の内容及び金額の見直し	経費	-1,200万円	-946万円	B	-460万円	施設管理、外来受付業務等の点検精査による経費削減。	
医師増員分に伴う経費の見直し	人件費	-3,000万円	-1,757万円	B	-1,500万円	平成22年10月から糖尿病専門医2人の増員。	

平成22年度の病院の業績は赤字となりましたが、赤字幅が昨年比へ減少するなど好転に向かっています。要因は、診療報酬の改定によるものが大きいですが、平成22年10月に糖尿病センターが創設されたことも改善への大きなきっかけとなりました。また、整形外科を中心として手術件数が増えたことは今後の弾みとなります。

経常収支比率が100%となるにはまだまだ遠い道のりですが、町民の皆様の安心の医療を目指し、経営改革に向けて最善を尽くしてまいります。

■お問い合わせ かみいち総合病院事務局総務課 ☎472-1212

1. 財務に係る数値目標

主な数値目標	平成22年度			平成23年度	
	計画値	実績値	達成状況	計画値	
経常収支比率	93.9%	96.7%	A	95.1%	
職員給与比率	61.5%	59.8%	A	61.1%	
病床利用率(一般)	76.5%	77.0%	A	78.2%	
平均在院日数(一般)	17.5日	18.2日	B	17.0日	
医業収支比率	87.2%	89.6%	A	89.6%	
不良債務比率	0%	0%	A	0%	
患者1人1日当たり診療収入(入院)	27,958円	28,197円	A	28,922円	
患者1人1日当たり診療収入(外来)	8,801円	8,979円	A	9,187円	
患者1人1日当たり診療収入(医師)	327,834円	306,538円	B	323,944円	
患者1人1日当たり診療収入(看護師)	53,104円	51,486円	B	54,204円	
患者1人1日当たり薬品費	2,716円	2,548円	B	2,665円	
取組内容					
1 地方交付税等の財政措置の拡充に伴い、一般会計からの繰入金が増額され、経常収支比率が改善した。 2 医師不足の中、糖尿病の専門医を2人確保。医業収支比率は計画値を達成した。 3 医業収益を確保するため、診療報酬改定に際して積極的に施設基準取得を実施。1人当たりの診療単価は、入院・外来ともに目標を達成した。					

2. 医療機能に係る数値目標

主な数値目標	平成22年度			平成23年度	
	計画値	実績値	達成状況	計画値	
1日平均患者数(入院)	166.0人	167.1人	A	170.0人	
1日平均患者数(外来)	477.8人	478.0人	A	470.1人	
入院患者1,000人当たり手術件数	13.9件	11.9件	B	14.0件	
紹介率	20.0%	20.2%	A	30.0%	
取組内容					
1 患者数は、入院・外来ともに目標値を達成した。 2 紹介率も目標値を達成し、さらに病診連携が進んだ。 3 常勤の麻酔医が不在のため、手術件数が伸び悩んだ。					

【評価委員の評価・意見】

- 平成22年10月の糖尿病センター開設による経済効果は非常に大きいとはいえないが、医療の質の向上という視点で評価できる。同センターをもっとPRすべきである。
- 平成22年4月の診療報酬改定の効果は、入院が4.9%、外来が5.8%で、一定の効果が表れている。
- 5大疾病として精神疾患が追加され、重点的に取り組まれつつある中、精神病棟の縮小には十分留意して検討すべきである。
- 整形外科の手術・患者の増は、病院の強みであり、さらに伸ばす取組が必要である。
- 国保直診病院として、今後も地域包括ケアと総合医の育成・確保が大切である。
- 特色あるセンター構想として、上市町では消化器センター、訪問診療・訪問看護センター、血管センターに取り組んでいくべきである。
- 24時間365日救急医療体制は、医師不足の中、現実的に難しい。地域基幹病院として、今できる取組を進めながら住民への理解を深めることが必要である。